

# ヨコヨコインターン

社会に働きかける仕事『ソーシャルワーカー』をノゾキ見！

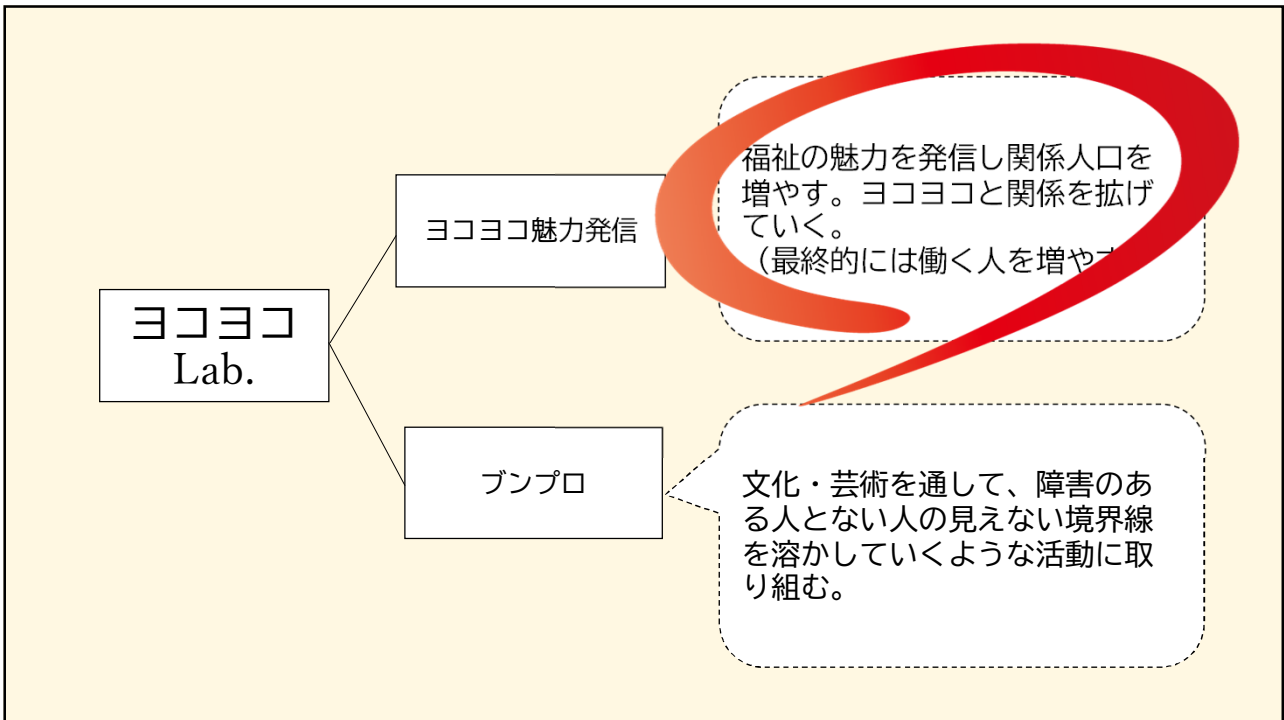
The illustration shows a person with white hair and a green shirt sitting inside a wooden cage. Three thought bubbles surround the person, each containing a question. The top bubble asks about social issues and job availability. The left bubble asks about diversity and social inclusion. The right bubble asks about the world with and without disabilities. The scene is decorated with yellow stars and question marks.

社会的課題に興味があるけど  
どんな仕事があるのかわからない

多様性とか  
社会的包摂とか言うけれど  
障害のある人や  
その周りにいる人たちの  
リアルな声を聞いてみたい

障害のある人もない  
いっしょに…って  
どんな世界なのかな？

障害福祉の仕事を通して  
『ソーシャルワーカー』と出会う5日間



## 企画のねらい

### <キーワード> ノゾキ見

- ・ソーシャルワーカーたちが楽しく働いている姿を感じてもらう
- ・障害福祉の仕事にもいろいろあることを知ってもらう。

## 企画のねらい

### <キーワード> ノゾキ見

(案内文)

ひとことで障害福祉と言っても、さまざまな仕事があります。

相談にのる、就労を支援する、障害児の放課後をサポートする、介護をする…。

運営法人の垣根を越え、それらをちょっとづつノゾキ見して体験できるスペシャルなインターンプログラム。

## ターゲット

- ・新卒・第2新卒にしぼる
- ・学科はしぼらない

→「福祉の仕事」が、少し視野に入っている人に、  
「障害福祉の魅力」を伝えて、  
一般企業や他の福祉分野ではなく、障害福祉を選んでもらう

## ポイント：働く人にフューチャーする

働く「人」にフューチャーする。

よくある就職説明会では、「この仕事ステキですよ！」ということ  
をアピールされるが、それだけではなく、

「この仕事をしながら自分の人生を楽しく生きている」という姿が

「あの人楽しそうやし、この仕事してみようかな」

ということにもつながる。

(逆に実習で「つまらなそうな職員」を見て、福祉の仕事を選択肢から外  
す学生は多い。)

楽しんで働いている人に担当してもらう。

## 企画内容

①	2月14日	午前	オリエンテーション： いろんなソーシャルワーカーに会おう
②	2月15日	終日	就労支援事業所（障害者の通所施設）を体感
③	2月20日	午後	障害児が通う放課後デイサービスで楽しむ
④	2月21日	終日	障害児者の相談にのる仕事を知る
⑤	2月29日	午前	インターン報告会

## 申し込んでくれるだろうか…？

「2~3人申し込んでくれたらいいかな」と思っていたら、

**8人も申し込みが！**

（チラシは、龍谷大学と佛教大学で150枚程度ずつ配布）

インターン受け入れ施設が足りなくなり、  
急遽、受け入れ施設を探す。

## 2日目 就労系の施設をノゾキ見

「れもん会社」「瑞穂」「ぽっとらっく」  
に、2名ずつ行って頂きました。

<学生の感想より>

職員さんの言葉

「異なる生き方をしている人と関わることで、自分の中になかった価値観や考え方を知る。自分の人生のアップロードができる」

と聞いた。

今回のインターンを通して、教科書に書いてあったことと、  
現実が繋がっていった。

## 3日目 放課後デイサービスをノゾキ見

<学生さんの感想>

「障害のある人は、怖いと思い込んでいた」

インターンへの参加でそのイメージはすっかり変わったそうです。学生さんが、放課後デイサービスで出会ったけん玉がとても上手な女の子。

言葉でのコミュニケーションは得意ではない女の子は、一生懸命、動作を使ってけん玉を教えてくれたそうです。

その経験を目をキラキラさせながら学生さんが話してくれました。

## 4日目 相談支援の仕事をノゾキ見

<学生さんの感想>

医療ケアのある娘さんの話をしてくださった織田さんのお話を聞いた学生さん。

娘さんが生きてきた道のり、お母さんの悩みや喜び、炎天下の夏の暑さにも負けず大好きな「推し」のFESに出かけていく娘さんの姿…。

命にかかわるかもしれない大きな手術をするかどうかお母さんは悩んでいたけど、娘さんは「手術を受ける」と揺るがなかったというお話を聞いて

「娘さんは生きる力に満たされている。その姿に私も感化された。」と話されていました。

→この後、2名の学生さんがヘルパーとして朝のメイクの支援に入ることになりました！

## 5日目 報告会

報告会のテーマは、

“友だちから  
「インターンに行ったんだよね？どうだった？」  
と聞かれて説明する資料”

に設定させてもらいました。

# 学生さんの報告から

【インターン参加の経緯】

1. 障害分野に触れる
2. 自分を知る

【考察】

ワーカーと地域社会

STEP1

- ・存在を認知してもらう
- ・理解してもらう

STEP2

- ・共感を得る
- ・協力し合う

ワーカー

地域社会

協力者

》》》 繋がりを広げる

## インターン報告会

あすなるMAX

THE CHILD'S EMOTIONAL WORLD

- ・運動療育
- ・集団適応能力、身体能力の向上

THANK YOU VERY MUCH

詳しい記事は  
コチラから  
読めます！

自立支援協議会  
HPからでも  
ヨコヨコnote  
読めます！

ホーム 記事 メンバーシップ マガジン 月別

ヨコヨコ

ダイバーシティ&インクルージョンの時代。性別、年齢、民族、国籍、宗教、価値観、あらゆる違いを尊重し、誰ひとり取り残さない社会を、夢物語に終わらせないために、ヨコヨコは、障害福祉を切り口に「ともに生きる」を考え、これからよく生きるヒントを探求します。 企画：大津市障害者自立支援協

15 フォロー 68 フォロワー

設定

ヨコヨコからヨココにつながる ヨココ  
コインターン② あちこち 見  
る・聞く・話す

ヨコヨコインターン4日目は、①生活  
介護事業所atelier ikkai-sankai（アトリ  
エイツカイサンカイ）を見る ②伊

ヨコヨコ  
4日前

♡ 6

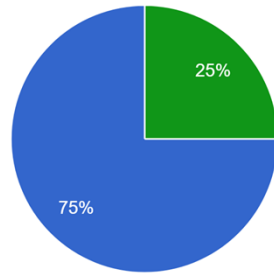
インタビュー

ヨコヨコ・インタビュー

掲載: ヨコヨコ 6枚

## 学生受け入れ施設アンケート

新年度もヨコヨコインターンがあれば、受け入れをしていただけますでしょうか？  
4件の回答



- 受け入れられる
- 受け入れられない
- まだわからない
- 参加人数などにもよりますが、機会があれば是非受け入れをさせていただけるように検討したいと思っています。

## 学生受け入れ施設アンケート

○事業所として実習生、インターンというかたちでの学生の受け入れが初めてのことで、事業所としても気づきを得られた機会になったと感じております。職員から学生への伝え方であったり、子どもたちの様子の違い(普段と違うのか変わらないのか等)を改めて感じるきっかけになりました。

○こんなにも福祉の仕事に対して意欲的な学生さんがおられることが分かったのと、同じ福祉でも違う現場で日々奮闘している仲間のことを知れたことがとても嬉しかったです！



## 学生受け入れ施設アンケート

当事業所としても初めてのことで、至らない点多々あったかと思えます。今回の企画を通して事業所として見直すべき点であったり、自分たちの支援に自信を持つことが出来たインターンだったと感じています。

ヨコヨコインターンの主旨として様々な福祉の職種を見学、体験ということであれば日程的にも1事業所1日程度が限界だったのかなと思えますが、1日という限られた時間の中で学生さんに何を伝えられたのだろうという不安はありました。

報告会を聴いたときに、伝えなかった事を学生さんが話してくださった時は安心感とともにインターンの受け入れをしてよかったなと感じることが出来ました。

日程調整など様々な壁はあるかと思えますが、是非とも数日かけての体験が出来ればなお良い経験を学生さんにしてもらえるのかなと感じました。

ありがとうございました。

## 2024年度も実施します

### ①受け入れ施設の声「もう少し長めに来てほしい」

→自立支援協議会としては「ノゾキ見」企画でキッカケを作る。  
長めのインターンについては、事業所ごとに企画をしてもらい、  
学生に情報提供してもらう。

### ②受け入れ施設を増やす

→募集をかけます。説明会（オンライン併用）にご参加ください。  
企画意図を理解してもらえる事業所をお願いしたい。  
日程やプログラムも承諾してもらえること。  
学生に「障害福祉の魅力」を伝えられる職員に担当してほしい。

### ③受け入れ人数と時期

→1事業所あたり、1～2名で受け入れをお願いする。

時期：夏季8月下旬～9月上旬　冬季：2月

(試験や就職活動の日程を鑑みるとこうなる)

### ④お茶菓子について

→学生と対話形式の取り組み（オリエンテーション、相談支援、報告会）の時に、お茶菓子が欲しい。施設のパンフレットとセットで紹介するので、クッキーなど寄付してもらえると嬉しい。

### ⑤障害者福祉といえどもいろいろあるよと伝えたい

いろいろな種類の事業所に行ってほしい

しかし、実施調整のむつかしさがある。

2024年度は、通所と放課後デイと相談にしぼる。

### ⑥そこそこ事務仕事は大変でした

企画、調整、カメラマン、ライター…

手伝ってくれる人がいるとありがたい。

### ⑦交通費の問題

→今回の参加者は、全員大津市内在住。交通費の問題もあり、  
遠方の学生は来なかったのではないか。

滋賀県が助成している福祉人材センターにインターンの交通費補助に  
ついて相談してみたが、複数の事業所に行く場合は対象外だった。

### ⑧個人情報について

→学生の個人情報は、自立支援協議会で管理し、各事業所には提供しない。  
各事業所は「バイトに来てね」「ボランティアに来てね」というのはOK

受け入れてみたい事業所さんは  
説明会にご参加ください。

6月10日（月）  
11:00

オンラインで開催  
録画配信もします。



今回の対象施設は、以下です。  
・通所施設  
・放課後デイ